

特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン協会
第 14 回定期総会議事録

1. 日 時 平成 26 年 5 月 27 日(火) 15 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所 港区立エコプラザ(東京都港区浜松町 1-13-1)
3. 出席者数 27 名(うち書面表決委任者数 19 名) 会員総数 38 名

4. 審議事項

(1) 議長選出の件

司会の竹内理事から開会の辞が述べられた後、議長の選任に入り、竹内理事より正会員・森和彦を推薦したいと提案があり、全会一致で選出した。

(2) 議事録署名人選任の件

議長は、正会員の出席 8 名、表決委任者 19 名、計 27 名にて、総会成立の定足数 19 名を上回っていることを確認し、有効に成立している旨を報告した後、議事録署名人として、幕内宣文、松岡良幸の両会員を指名し、審議に入った。

(3) 議件の審議

第 1 号議件 平成 25 年度事業報告の件

木村理事より、別紙平成 25 年度事業報告書にもとづき、下記の通り報告が行われ、全会一致で承認された。

① オーガニックコットン製品普及事業について

- ・ オーガニックコットン製品に対するタグ発給をした。
- ・ 国際的な認証基準 GOTS(世界オーガニック繊維品基準)の普及に努める一方、ドイツにおける GOTS 会議に森理事長が参加し、GOTS 基準及び運用の改善業務に協力した。2014 年度は TC 委員を森理事長、IWG 委員を渡邊副理事長が携わることで、基準がバージョン 4.0 に改訂されたことなどが森理事長より説明された。
- ・ GOTS 地域代表三好氏から GOTS2 月会議の参加状況が説明された。

② 広報事業について

- ・ ホームページの情報を更新し充実を図った。
- ・ アースデー東京へ展示小間出展した。
- ・ アーティスト T シャツが目標の 100 名に達したことを記念し、地球環境パートナーシップと港区立エコプラザにて各 1 か月の長期展示を行った。
- ・ BioFach Japan へ JOCA 会員 3 社と GOTS と共に JOCA 協同ブースを構成し展示小間出展した。
- ・ エコプロダクツ 2013 へ展示小間出展した。
- ・ 東北支援プロダクツへの協力が渡邊副理事長より説明された。

③ 研修事業について

- ・ 地球環境パートナーシップにてオーガニックコットン・セミナーと環境映画上映会を開催した。
- ・ BioFach Japan にてオーガニックコットン・セミナーを 2 講座開催した。

④ 啓蒙普事業について

- ・ 地球環境パートナーシップと港区立エコプラザにてアーティストによるトークショーを開催した。
- ・ オーガニックコットン小冊子を頒布した。

第2号議件 平成25年度収支決算の件

木村理事より、別紙決算書類にもとづき、報告がおこなわれた。中野監事は欠席であったが、厳正な会計監査が中野監事のもとで行なわれたことが事務局より報告され、全会一致で承認された。

第3号議件 平成26年度事業計画の件

渡邊副理事長より、別紙26年度の事業計画案にもとづいて説明が行われ、全会一致で承認された。26年度は研修事業の新しい取り組みとしてオーガニックコットン販売士資格検定講座が加わった。

第4号議件 平成26年度収支予算の件

渡邊副理事長より、別紙26年度の収支予算案にもとづいて説明が行われ、全会一致で承認された。

その他報告事項

森理事長より、タグ代金に付加した国産綿花栽培施設に対する支援金について説明が行われた。2014年度の支援金合計は合計502,110円、支援先は5カ所、1施設10万円とする。今総会にて支援先を発表する予定で準備をしたが、さらに多くの対象施設の紹介があったため選定用のアンケートを追加で行い改めて審議し、11月22日全国コットンサミットにて発表する。

以上をもって、議事を終了し、午後16時30分議長は閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成26年5月27日

特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン協会

議長 理事長 森 和彦 ㊞

議事録署名人 株式会社プレーリードッグ 松岡 良幸 ㊞

個人正会員 幕内 宣文 ㊞